



北緯40度 彫刻とホッケーのまち

ひなまつり

3
No.621

2017年3月1日

はじめてまつり「アメリカのひなまつり」

主な記事

今こそまち創り

沼宮内小で行われた恒例の世代間交流事業「ひなまつり交流会」に参加し、米国から贈られた友情人形「メリーちゃん」（昭和2年贈）と「ジャッキーちゃん」（平成22年贈）姉妹（同小保存）と初めて対面した1年生の女子児童たち。3月3日の姉妹の誕生日を祝おうと名前入りの特製ケーキをプレゼントしました。（2月23日、沼宮内小）

生産者と消費者が一緒に考え取り組む時代です



町認定農業者協議会長
町農工商連携促進委員会
三浦 正美氏

昭和30年太田に生まれ。昭和53年に就農以来、有機循環型農業を確立。「安全・安心・良質」の野菜生産を追求し、耕畜連携など先駆的農業を推進。町エコファーマー第1号、県農業農村指導士に認定。本県を代表する農業者の一人、「いきいき農場」代表、町認定農業者協議会長などを務める



町ふるさと大使
埼玉新聞社取締役会長
丸山 晃氏

昭和20年生まれ。昭和46年3月に明治大政治経済学部を卒業し、昭和51年9月に埼玉新聞社入社。要職を歴任し平成13年に同代表取締役社長・編集局主幹兼埼玉新聞印刷代表取締役会長、平成22年に同取締役会長に就任。町ふるさと大使ほか各種団体の役職を務める



岩手大学客員准教授
㈱マイルストーン代表取締役
鈴木 勝美氏

昭和40年、埼玉県東松山市に生まれる。中堅広告代理店を経て、平成12年6月株式会社マイルストーンを設立し、平成17年より岩手大学地域連携推進センター客員准教授。平成22年より岩手県食のプロフェッショナルチームアドバイザー、農工商連携コーディネーター兼プロデューサーを務める

大事なものは「伝える」こと。岩手は「眠れる獅子」

「農工商連携」のカギは「ヒト」そのものなんです

今こそ まちづくり 創りの づく

「岩手町」挑戦する「まちづくりフォーラム」

雪に閉ざされるこの季節は「雌伏の時」
来るシーズン「まち創り」に向け
今、注目を集める「農工商連携」、
「キャベツ産地百年の歴史」をテーマに
町ぐるみのイベントが開催されました。



貴重な提言や議論に聞き入る来場者⑤と注目を集めた商品開発の成果発表

「岩手町」挑戦する「まちづくりフォーラム」農工商連携のまちを目指しては二月二日、岩手地域交流センター・プラザあいいで開催されました。当日は、町内外から約五百五十人が参加、「農工商連携はヒトづくり、地域づくり」をテーマに、町ふるさと大使の丸山晃さんと町内の大規模農家の三浦正美さん、農工商連携コーディネーターの鈴木勝美さんによる公開座談会が行われ、丸山さんは「地方と都市にはそれぞれ良さがある。お互いに良さを伝え合おう」とが大事。地域間競争を勝ち抜くには町の良さをちゃんと伝えることが必要で、その意味で岩手は「眠れる獅子」と語り、三浦さんは「岩手町は野菜作りに適した環境があり、耕畜連携による有機資

源の循環が確立しているバランスの取れた町。生産者の取組み、こだわりをどう伝えるかが大事。これからは地方と都市、生産者と消費者が一緒になって健康を考える時代、「農工商」に「医」を含め、町の資源を宝にしたい」と語り、鈴木さんは農工商連携は何をやりたいかが大事。商品のスキルを上げるには、関わる「ヒト」のスキルを上げ、地方は農工商連携に観光を加え生産地を知ってもらうことが大事。消費者は農業や生産の情報を知りつつ知る必要がある。これにはメディアの力も重要だと締めくくりました。また、町の新しい取り組みや商品開発について、町と当地グループ研究会など八団体が成果を発表。試食会を行うなど注目を集めました。

2011

町豊かな農村づくりシンポジウム



生産者の情熱と成果に光

2011町豊かな農村づくりシンポジウムは二月十六日、町と町農業改良推進協議会が主催して岩手広域交流センター・プラザあいいで開かれました。当日は、より良い作物づくりを追求して豊かな農村を実現しようという情熱を傾ける町内の農業者や後継者、関係者など約百六十人が参加。席上では、昨年開かれた第三十回町農林産物共進会の表彰式が行われ、今回出品された十一部門五百四十九点の農産物の中から選ばれた八十点の生産者に、民部田幾夫町長などが賞状と記念品が授与されました。

キャベツ産地の意義学が

表彰式終了後は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村

工学研究所の清水克志さんが、歴史を活かした豊かな農村づくり「〜「積んだ玉菜の宝山」の向こうに広がる世界」と題して講演。清水さんは「古くから農業後進地帯とされながらも、明治の初頭に未知の西洋野菜キャベツの産地化に全国に先駆けて成功し、特産キャベツ『南部甘藍』を擁する日本一の産地としてキャベツを大衆野菜の地位に押し上げた岩手県と、常にその主産地であり続けた岩手町の百数十年におよぶ歴史は、大変に意義深く価値あるものです。今日も全国ブランドキャベツ『いわて春みどり』を擁する全国有数の野菜総合産地として知られ、町の大多数の皆さんがそうした歴史を共有する岩手町は、まさに『百年の野菜産地』、『伝統・南部甘藍の郷』と言えますよ

う。常に新しいことに果敢に挑戦し続ける岩手町にとって、そうした地域の歴史を共有し、活用し、大切に後世に語り継いでいくことは、農業やまちづくり、教育などあらゆる分野の飛躍と発展に、きつと大きく貢献するものと考えます」と、多彩な資料と分かりやすい説明を加えながら力強く訴え掛けました。身近にあるキャベツの知られざる歴史と、そこから広がる豊かな可能性を学んだ参加者たちは惜しみない拍手を送り、記念品として配布された「南部甘藍」の復刻手ぬぐいを手にしながら、思い思いに豊かな農村づくりへの決意を新たにしました。

岩手町は、まさに「百年の野菜産地」地域の歴史を活用し、語り継ぐことが大切です



①満員の会場で行われた第30回町農林産物共進会の表彰式②勢ぞろいした受賞者③多彩な画像と分かりやすい説明で好評を博した清水さんの講演④参加記念品として来場者に配布された町特産キャベツ「南部甘藍」(復刻)と「いわて春みどり」の手ぬぐい

(独)農研機構 農村工学研究所
清水 克志氏

筑波大大学院時代に、歴史地理学の立場から本県のキャベツ生産の歴史を研究。現在は、地域の歴史や文化を農業や農村の振興に活かすための研究に取り組む。平成22年には「岩手キャベツ物語」の編集委員長として執筆と編さんを担当。(茨城県つくば市、32歳)



横沢地区などで深刻な被害を出した昨年7月17日の豪雨災害

豪雨災害の寄付金や義援金 被災者の見舞金などに活用

平成22年7月17日に町内で発生した豪雨災害の復旧に役立ててほしいと、多くの法人や団体、個人から町に貴重な金品が寄付され、また町社会福祉協議会に多額の義援金が寄せられました。寄せられた寄付金などは、被災者へのり災見舞金などとして大切に活用されます。ここでは、平成23年2月末までに寄付や義援金を寄せてくださった皆さんを紹介します。なお、氏名、団体名などは届け出の際の表記で記載しています（敬称略）。

豪雨災害寄付金（町役場受け付け分）

●寄付金（18件 1,837,090円）

町婦人団体連絡協議会（大坊邦子会長） 佐々木久夫（下大町） 株式会社菅文（菅陽悦代表取締役社長） 新岩手農業協同組合岩手中央支所管内役員・職員一同 新岩手農業協同組合岩手中央支所女性部（丹内和子会長） 沼宮内好角会（佐々木光雄会長） 町交通安全母の会（立花ひとみ会長） 株式会社佐藤煙火（佐藤俊一代表取締役） 健康カラオケいきいき会一同（佐々木光雄代表） 岩手ライオンズクラブ（西館政彦会長） ライオンズクラブ国際協会332-B地区（相原文忠地区ガバナー） 有限会社外山商店（中村サツ子代表取締役） 特定非営利法人岩手県地域婦人団体協議会（及川子会長） 町職員一同 町ふるさと会役員一同、町商工会女性部（岩崎敬子部長） 沼宮内高等学校同窓会関東支部（田村武事務局長） 県商工会青年部連合会（高橋藤宗会長） 田野畑村商工会青年部（畠山辰也部長） 山田町商工会青年部（武藤庄一郎部長） 町商工会青年部（渡裕幸部長）

●物資 ・ボックスティッシュ500個 ホームセンターかんぶん岩手町店従業員有志
・飲料水600本 株式会社ベルプラス

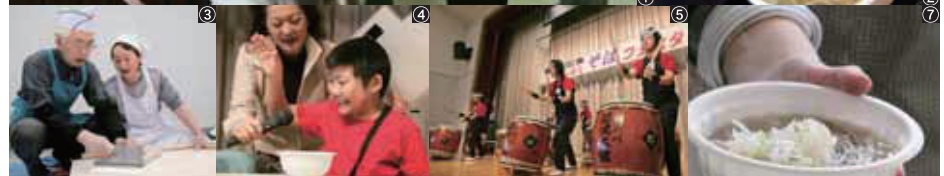
町豪雨災害義援金（町社会福祉協議会受け付け分）

●義援金（138件 2,796,333円）

大正琴川口教室（滝本佳子） 米田敏男 新田自治振興会 北日本銀行沼宮内支店 佐藤竜也 南野孝雄 民部田信一 工藤富美子 圓子節子 鍋倉留美子 菊宿金太郎 田村孝治郎 田村サツ子 中澤正季 廣田和子 榎マルトミ（佐々木永吉代表） 吉田幸助 豊岡自治振興会 昭和40年度沼宮内高等学校卒業結の会有志 早坂富夫 東井隆悦 浮中ユリ子 江刈内老人クラブ（戸埜村正会長） 東北銀行大通東友会（澤口範会長） 東北銀行沼宮内支店東友会（柴田和子会長） 田中シツエ 沼宮内高等学校同窓会関東支部 柴田陽 根子実 澤口助治 大町商店会 大町商店会大町夏祭り義援金 大畑冷子 医療法人徳政堂佐渡医院 岩本孝 澤口新一郎 澤口孝志 佐々木秀雄 松森恭一 佐藤省一 田中寛悦 鈴木圓之助 岩手町地区猟友会（鍋倉会長） 田中栄小路振興会（鍋倉新吉会長） 町職員一同 澤口峻造 遠山好治 北上川清流太鼓 石澤徳義 山本忠 田中喜代重 和田徳則 大坊盆踊り愛好会（大下末三代表） 柴田資英 町産地直売組合（田中喜一組合長） 小西早苗 成田広一 岩手警察署 町社会福祉協議会職員 高山則子 五十地一志 村木酒店 レストラン・ルピナ 村山宮子 山口モリエ タナカユキオ（土川出身） 町農業委員会委員一同（南武田米穀店 久保一彦 澤田ノリ 大町商店会 三ツ平昭吉 町社会福祉協議会役員一同 鈴木正行 早坂修二 土橋フミ 柚燃料店 川口地区自治振興会連絡協議会 高橋幸雄 高橋孝子 佐藤精肉店 千葉キヌ 細田信雄 松森節子 さわやか体操（内藤成子） 民部田富美男（福）春陽会岩手町デイサービスセンター 佐藤公昭 鮎割烹大将（榎ワイ・エス・ワイ総合企画） 丹内末次郎 町農産加工組合 岩瀬張自治振興会 山口サメ 岩手トヨペット労働組合 ホームセンターかんぶん岩手町店（福）春陽会東部デイサービスセンター職員一同 黒澤竹志 武田久 あんずの里職員一同 中村佑 川口地区民生児童委員協議会 西田利夫 吉野和男 沼宮内山車運行協議会（新町組・大町組・の組・愛宕組・ろ組） 横澤新子 田中幸平 大町自治振興会 外山商店（中村サツ子代表取締役） ミハルヒトシ 下平板金工業所 久保敏雄 上野口町円満クラブ 土橋啓子 欠畑啓子 朽木美代子 久保良子（南システム・ナレッジ 南山形地区各種団体連絡協議会 瀬戸整骨院 下沼宮内地区自治振興会連絡協議会（森子隆男会長） 童謡を歌う会 四日市秀夫 中居靖 町商業協同組合・町商工会・岩手ライオンズクラブ職員一同 沼宮内七つ踊り（上路孝志代表） 五日市獅子踊り（田中和雄代表） 南部駒踊り（柴田稔代表） 町秋祭り実行委員会（八戸保彦会長） 町商工会（八戸保彦会長） 川口地区文化祭実行委員会（澤田ノリ委員長） 町産業まつり委員会農林部門 新いわて農業協同組合大収穫祭実行委員会 ほかに匿名希望

【見舞金配分先と配分した金額など】

●床上浸水世帯（17世帯） 1,890,000円 ●床下浸水世帯（11世帯） 660,000円
●水堀地区自治振興会連絡協議会 246,333円 計 2,796,333円



①屋台前にできた長蛇の列②おいしさに笑顔をごぼす来場者③④恒例のそば打ち体験とそば早食い大会⑤⑥勇壮な馬淵川清流太鼓の演奏に沸く観衆⑦大人気の手打ちそば

第9回まんぷくそばフェスタ

盛況 3500人が来場

北緯四十度エリアのおいしい手打ちそばが一室に集まる人気の「いわて北緯四十度まんぷくそばフェスタ」は二月十九、二十日の両日、岩手広域交流センター・プラザあいであげられました。晴天に恵まれた当日は、町内の岩手町農産加工組合パワー工房や盛岡市玉山区の外山婦人会などによる、本町や八幡平市、盛岡市、葛巻町を代表する名物そば屋台六台が出店。一杯三百円という安さで各地で人気の手打ちそばが食べられると

あって、開店前から大勢の人が詰め掛けました。ステージでは民謡歌手・中川愛子さん一行や、馬淵川源流太鼓（葛巻町）、歌謡教室（八幡平市）など、各市町からバラエティ豊かな団体が二日間、にわたって競演。持ち前の魅力あふれる演奏で満席の会場を沸かせました。そのほか恒例のそば打ち体験やそば早食い大会なども行われるなど、そば尽くしの一日を満喫しました。そばフェスタは今回で九回目。そばの本場ならではの独自色あふれるイベントとして内外から好評を博し、本町の冬の風物詩となっています。毎年数多くのリピーターが来場し、今回は二日間で約三千五百人が来場ににぎわいを見せました。

県知事・県議会議員選挙

4月10日(日)は、県知事選挙(3月24日告示)と県議会議員選挙(4月1日告示)の投票日です。この選挙は、今後の岩手のあり方を考える私たち県民の代表を選ぶ大切な選挙です。一人ひとりの意思を県政に反映させるため、自らの判断で必ず投票をしましょう

投票日

4月10日(日)

投票時間 午前7時～午後6時

投票できる人には
2つの条件が必要

今回の選挙で投票できる人は、次の二つの事項に当てはまり、選挙人名簿に登録されている人です。

①町内に住所がある満二十歳以上の人(平成三年四月十一日以前に生まれた人)

②引き続き三カ月以上、町内に住んでいる(住民基本台帳に登録されている)人。他市町村から転入した人は、県知事選挙では平成二十二年十二月二十三日までに、また県議会議員選挙では平成二十二年十二月三十一日までに転入届を申し、引き続き三カ月以上町の住民基本台帳に登録されている人

県内から岩手町へ
引越してきたら

平成二十三年一月一日以後に県内から転入した人は、前住所地の市町村に選挙権があります。役場町民課から「引き続き同一の県の区域内に住所を有する旨の証明書」の発行を受け、

この証明書を持って前住所地の市町村で投票してください。

岩手町から県内へ
引越しをししたら

平成二十三年一月一日以後に県内の他市町村に転出した人は、岩手町に選挙権があります。転出先の住民登録担当課から「引き続き同一の県の区域内に住所を有する旨の証明書」の発行を受け、岩手町内の投票所で投票してください。また、一月一日以降、県外へ転出した人や、県内に住所があっても二回以上移転する(した)人は投票できません。

期日前・不在者の
投票は9日までに

仕事や病気、旅行や用事などで投票日に投票区内にいない人も、次により期日前投票ができます。

【期間】▼県知事選挙三月二十五日(金)～四月九日(土) ▼県議会議員選挙四月二日(土)～四月九日(土)

【時間】午前八時三十分～午後八時

た、投票の際は入場券を忘れずにお持ちください。

投票は、原則として自分自身で投票用紙に記入して行うことになっていきます。しかし、目が不自由だったり、手にけがをしていたり、自分で記入できない人は、投票所の受付係にお申し出ください。係員が本人に代わって記載する「代理投票」によって投票できます。

なお、付き添いや看護が必要な人が投票する場合は、看護人や付添人、また、幼児や赤ちゃんなどと一緒に入場券を渡すことができます。ただし、有権者以外が投票用紙を投票箱へ入れることはできませんのでご注意ください。

開票は午後8時～
参観人は50人まで

開票は、投票日即日の四月十日午後八時から町総合開発センター1で行います。町内の有権者はだれでも参観可能で、定員は五十人です。

選挙については、町選挙管理委員会事務局 ☎62・2111 内線203まで気軽に問い合わせください。

をしてください。

体が不自由な人は
郵便投票できません

身体に重度の障害を持ち、投票日に投票所に出掛けることができない人は「郵便投票」ができません。これは、町選挙管理委員会から送られた投票用紙に本人が記入し、その投票用紙を町選挙管理委員会へ郵送するものです。郵便などによる不在者投票ができる人は(表1)の皆さんですが、次のことに注意ください。

表1 郵便などによる不在者投票の対象者

郵便などによる不在者投票は、身体障害者手帳か戦傷病者手帳をお持ちの選挙人で、表中○印の該当者が対象になります。また、介護保険被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人も対象になります。

身体障害者手帳	障害の種類	障害の程度		
		1級	2級	3級
両下肢、体幹、移動機能の障害		○	○	
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害		○	—	○
免疫の障害		○	○	○

戦傷病者手帳	障害の種類	障害の程度			
		特別項症	第1項症	第2項症	第3項症
両下肢、体幹、移動機能の障害		○	○	○	
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害		○	○	○	○

表2 郵便などによる不在者投票(代理記載制度)の対象者

郵便などによる不在者投票ができる選挙人で、本人が投票用紙に記載できないと認められた表中○印の該当者は、代理記載制度を利用できます。あらかじめ町の選挙管理委員会に届け出た代理記載人(選挙権を有する人に限る)に投票に関する記載をしてもらい投票します。

障害の種類	障害の程度	
	1級	2級
上肢、視覚の障害		○

障害の種類	障害の程度		
	特別項症	第1項症	第2項症
上肢、視覚の障害	○	○	○

表3 投票所一覧

投票区名	投票所名(投票所を設ける場所)
第1投票区	御堂集落センター
第2投票区	水堀いきがい交流センター
第3投票区	横沢集会所
第4投票区	豊岡開拓婦人ホーム
第5投票区	新町城山青年婦人会館
第6投票区	細沢多目的集会施設
第7投票区	勤労青少年ホーム
第8投票区	愛宕下住宅集会所
第9投票区	林業研修センター
第10投票区	横田地区コミュニティ消防センター
第11投票区	久保公民館
第12投票区	一方井健康センター
第13投票区	黒石生活改善センター
第14投票区	黒内多目的集会施設
第15投票区	信義丘会館
第16投票区	浮島多目的集会施設
第17投票区	川口地区社会体育館
第18投票区	野原地区コミュニティ消防センター
第19投票区	南山形高齢者等活性化センター
第20投票区	北山形公民館
第21投票区	岩瀬張地区集落センター





みんなのた場

皆さんが作る楽しいスペースです。あなたもぜひ登場を。町政や町民生活に関して、言いたいこと、聞きたいこと、呼び掛けたいことなど、あなたの声やあなたの地域・職場での話題をお寄せください。投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係☎内線216まで。

各館自慢の体験教室一堂に 町公民館まつり大にぎわい

日ごろ各地区で行われている公民館の体験教室が一堂に会するいわてまち公民館まつりは二月五日、岩手広域交流センター・プラザあいで行われ、町内外から約四百人が来場しました。当日は、「五日市獅子踊り」と「沼宮内七ッ踊り」の両郷土芸能による迫力ある踊りで開催。会場には、風船でさま



①講師の手ほどきを受けて作るバルーンアート②見本のように作ろうと熱心に取り組む参加者たち③南山形公民館のそば打ち体験も大人気

ざまな形を作る「バルーンアート」や再生紙の紙バンドで小物入れを作る「エコクラフト」、そば打ち、生け花など町内七つの公民館が持ち寄った十種類の体験教室のほか、町立図書館の「本の読み聞かせコーナー」が設けられ、どのコーナーも多数の参加者でにぎわいました。参加者たちは、バラエティに富

新燃岳近隣の子どもたちへ 頭部を守る安心帽180個寄贈

新燃岳の噴火で自主避難する鹿児島県霧島市の子どもたちに贈ってほしいと、株式会社飯島産業(飯島良彦代表取締役社長)は二月十六日、「ほっと安心帽」180個を町に寄贈しました。「ほっと安心帽」は、布地に硬い



民部田町長に「ほっと安心帽」を贈呈する製造元の株式会社飯島産業飯島専務と帽子を開発した㈱リードの戸泉社長(中)

「毎年、楽しみにしています。昼ごはんを食べる時間も惜しんで、いろいろな教室に参加して帰るんですよ」と話し、同まつりを思う存分満喫しました。

素材と軟らかい衝撃吸収素材を合わせて組み込み込んだ帽子。布製の帽子に比べ頭部への衝撃を二十分の一に抑えられるというこの帽子は、二戸市の㈱リード(戸泉秀明代表取締役)が開発し、飯島産業岩手工場へ一手に製造されています。同社の飯島二郎専務取締役は、昨年十月に霧島市長が本町で行った講演に出席したことに縁を感じ、新燃岳噴火のニュースを見て「わが社の製品がびったりだと思っただけで奇想を発想、町を通じて霧島市へ申し出ました。寄贈された帽子は、町から霧島市へ送られ、自主避難地区に指定されている三カ所の保育園や幼稚園に配布されます。



いつか
どこかで

いわてっ子 259 義徳さん・裕美さん夫妻の次女・駒通

齊藤 リナちゃん (2歳6カ月)

恥ずかしがりやですが、芯の強いところもある子です。姉(ユナちゃん、5歳)のすることを何でもまねしたり、一緒に歌ったり踊ったり、ときには歯みがきさえも競うようやっています。最近は、おしゃべりが上達。みんなにあいさつしたり、家にかかってくる電話に出たりできるようになってきました。名前を覚えてもらって、たくさんの方々に慕われるような子になってほしいですね。(母親・裕美さんの話)



お気に入りのキャラクターの帽子をかぶり元気に外遊びするリナちゃん



僕の夢 私の夢 259

田村 陸くん (一方井小5年)

日本一のホッケー選手に

「日本一のホッケー選手になって、オリンピックや国際試合で活躍したい」と話す陸君は、姉の影響で1年生からスポーツ少年団でホッケーをはじめました。チームでのポジションはミッドフィルダー。フォワードにパスを出すプレーが得意です。学校では図書委員会に所属。読書が好きな陸君は「本を読んであげるのがおもしろい」と下級生たちに本の魅力を伝えます。4月からは、いよいよ小学校生活を締めくくる6年生。夢に向かって、まずはスポ少ホッケー日本一を目指します。

皆さんと一緒に楽しみたい 山口 ハナさん (85歳、上大町)

「穀蔵から沼宮内に移り住んで5年。初めのころは、沼宮内に知り合いもなく、街の暮らしに馴染めるか不安でしたが、移り住むとすぐに老人クラブに入らないかと皆さんから声を掛けられ、温かく迎え入れていただきました。そのおかげで街の暮らしにもすぐに慣れ、さまざまな行事に参加させていただきながら、毎日を楽しく暮らしています。本当にありがたいことです」と話すハナさんは、穀像地区に生まれ育ち、山仕事や農業などをして長年働いてきました。近年は過疎と高齢化が進み、同地区の戸数はわずか数年の間に半減。独り暮らしの母の身を心配する息子の勧めで、沼宮内に引越してきました。「ずっと体を動かして働いてきましたから、買い物には徒歩で、遠回りをしながら散歩がてら出掛けます。これからは元気で、皆さんと一緒に楽しみたいですからね」と笑います。



おはようございます 259

教育を高めて進む町づくり大会

四実践区が成果を発表

学校や地域・家庭などが連携して取り組む教育振興運動の発表の場として町教育振興運動推進委員会などは一月三十日、教育を高めて進む町づくり大会を町総合開発センターで開催しました。当日は、PTA関係者ら約三百五十人が参加、児童生徒の各種コンクール入賞作品が披露されたほか、地域と学校が一体となって取り組んだ成果を四つの実践区が発表。参加者は、各実践区の特徴ある取り組みに耳を傾け、教育振興運動の一層の充実を誓いました。



読書感想文コンクール金賞の作品を発表する一方井中丹内陽太君

㈱テクノエンジニア「氷はぎ取り棒」



民部田町長にはぎ取り棒を贈る橋代表取締役(左)と立花専務(右)

福祉施設8カ所に寄贈

福祉施設などで活用してもらおうと㈱テクノエンジニア橋喜代三代表取締役は一月三十一日、同社が作製した「氷・圧雪はぎ取り棒」八本を町に寄贈しました。この棒は、同社の橋代表取締役が「高齢者が雪かきする姿を見て、何とか労力を減らしたい」という思いから作製。約百八十センチの長さで、腰に負担を掛けることなく、先端のヘラ状になった綱で地面から氷をはぎ取る優れたもの。寄贈されたはぎ取り棒は、町を通じて町内の通所型福祉施設に贈られました。

自殺予防ポスターのコンクール

沼高丹内君が最優秀賞

命の大切さについての意識を高めようとして町自殺対策・こころのネットワーク会議が開催した自殺予防啓発ポスター原画コンクールは二月三日、審査会を開き、最優秀賞などを決定しました。町などは応募があった十五作品の中から最優秀賞に選ばれた作品を元にポスターを作成。町内各地に掲示して自殺予防を訴えます。審査結果は次のとおり。

▽最優秀賞 丹内諒(沼宮内高二年) ▽優秀賞 田村千仁(同)、玉山幸稀子(同)



「周りの人の支えで自殺は防げる」と原画と共に訴える丹内君

少年消防クラブが防火パレード



拍子木を打ち鳴らし「火の用心！」と呼び掛けるクラブ員たち

ユニークに防火訴える

空気の乾燥する冬場に多い火災の予防を呼び掛けようと館・柳橋地区少年消防クラブは二月十三日、沼宮内地区で防火パレードを行いました。当日は、まといや拍子木を手にした二十四人のクラブ員が参加。「お肉焼いても家焼くな」などユニークな掛け声で沿道の人たちに火の用心を呼び掛けました。同クラブは三月四日まで地区区内を六回パレードし、ほか、手作りの防火看板を設置し、地区内の防火意識を高めます。

スポーツ

健康体力づくり推進宣言のまち 岩手町

中学生インドアホッケー 寒さに負けない熱戦展開

屋外グラウンドを使用できない冬期間のトレーニングの一環として、町学校体育連盟が主催する第13回インドアホッケー大会は1月29日、町体育館で行われました。手作りの木枠に囲われたコートで室内用のボールを使うインドアホッケーは、攻守が目まぐるしく替わる速い展開が特徴。当日は、インフルエンザの影響で出場を自粛した一方井中を除く3中学校から男女10チームが出場し、冬の寒さに負けない迫力あふれる熱戦を繰り広げました。各チームの選手たちは、久しぶりの大会参加で意欲を高め、春から始まるシーズンに向け再び練習に励みます。大会結果は次のとおり。

【大会結果】

- ◆男子 ①川口中A ②川口中B ③沼宮内中B ④沼宮内中A ⑤東部中
- ◆女子 ①川口中A ②沼宮内中A ③東部中 ④川口中B ⑤沼宮内中B



抜かれても振り切られまいとボールにスティックを伸ばす選手

キッズスポーツスクール サッカーとバレーに挑戦

小学校入学前のキッズ年代にさまざまなスポーツを体験させ、冬期間の運動不足を解消しようと町教育委員会と町総合型地域スポーツクラブ準備委員会は、勤労青少年ホーム体育館でキッズ・スポーツスクールを開催しました。

2月6日と13日の両日はバレーボールが行われ、約20人のキッズが参加。スポーツ少年団「INCびっきい〜ず」の岩井文枝監督と団員たちから楽しいレクリエーションを交えたウォーミングアップや軟らかいゴムのボールを使ったレシーブやサーブ、スパイクなどを習い、バレーボールを楽しみました。

11日は町サッカー協会員がサッカーを指導。体のいろいろな部分でボールに触れる遊びやドリブル、キックなどの練習をした後、4チームに分かれて試合を行いました。川口保育所の佐藤理君(6歳)は「うまくなったと思う」と喜び、一緒に参加した佐藤宇央君(6歳)は「バレーもサッカーも楽しかった」と汗をかいて元気いっぱい2種類のスポーツに親しみました。



①みんなでボールを追いかけよう ②指導員に見守られキックを練習 ③「INCびっきい〜ず」のメンバーもやさしく指導 ④ボールをよく見てアタック ⑤全身でボールに触れるウォーミングアップ

3月

日	月	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●印は休館日 火、水、金曜日 9:00～18:00
木曜日 9:00～19:00
土・日曜日、祝日 9:00～17:00

書名	著者
KAGEROU	智裕 裕朗
純平、考え直せ	齋藤 英愛
お使用愛子の詰め合わせ	藤 愛子
その人の思い出	吉村 昭
ギネス世界記録 2011	ケイ・グレンディ
来ちゃった	井 順子
火災と消火の科学	中 多雄
薬物乱用・中毒百科	内藤 裕史
老前整理	坂 洋子
ママのための食品添加物事典	石川みゆき
33人子落船事故の真相と真実	マエノヒト
人はなぜだまされるのだろうか？	斎 育郎
ほんをよめばなんでもできる	マーク・ブライヴ

【おはなし会】
日時：3月27日(日) 午前11時から
場所：ゆはず交流館 学習室
対象：小学校就学前のお子さん
内容：絵本の読み聞かせ、わらべ唄、手遊びなど

【ゆはずピッコ映画会】
日時：3月24日(木) 午後2時から
場所：ゆはず交流館 視聴覚室
対象：幼児、小学生
内容：アニメーション映画を2本上映

佳作 天皇家にあやかりつけた娘の名
母の夢に特急で会いに行く
金よりもあやかりたいな家族仲
神様に手叩き仏に手を合わせ
欲望があやかりたいと思わせる
あやかりは母さんですと子等の笑い
無位無冠あやかることもなくて老い
心から尊敬しますテレサさま
七十七路も兎に懸けて飛び跳ねる

川柳

席題「あやかる」

柴田 満子 選

柴田 厚子
菊池 一寛
四日市 俊悦
土橋はつお
久慈 正和
佐藤 小 草
戸 琴 草
馬 草
自 草

図書館だより ☎ 62-2877



早い雪解けを願う今日このころ、図書館では話題の本を取りそろえ、皆さんの来館をお待ちしています。

新着図書案内

■介護者のための病氣と薬がわかる本…漢方篇
佐渡医院院長 佐渡 豊

介護や医療に携わる人が、知っておきたい漢方の知識を分かりやすく紹介。基本的なことや疾病・症状による処方例、よく使われる漢方薬よくある疑問と誤解Q&Aなどを収録。

■女子芸人
人前で話すことが苦手な女子が、なぜか漫談家に。仕事を始めたものの、芸も、そして恋も苦難の連続。だが自分を見失いかけた時、師匠の一言から転機が…。

■サイパンの戦い「大場栄大尉を讀み解く」
近現代史編集会

太平洋戦争の勝敗を分けた「サイパンの戦い」の全貌を、八十九項目の解説と貴重な写真で紹介。今年二月公開の映画「太平洋の奇跡」の紙上ロードショーやノンフィクション作家 家保阪正康の特別寄稿なども収録。

■あいうえおおきなだいふくだ
たるいしまこ

「あ」んこがたつぷり大きな大福。「い」きなりどーんと森の中。「う」さぎが子どものお土産に、「え」いんやこらとひっぱったけど…。あいうえお順に楽しくお話が進む絵本。

文芸

俳句

凍緩み微かに生れし水の音
雪折れの山河哀しや卯の始め
民宿や炉火懐かしと手を焙る
海苔粗朶におだやかな波ゆきわたり
出不精も笑顔になりて初句会
カレンダー又美しき二月かな
初日の出子孫揃ひて仰ぐ夢
声立ててサロンドだからと初笑い
お地蔵の膝下にこぼれ寒雀
観音の掌を遊び場の寒雀
遠き日の馬箱箱ありし頃
豪雪の耕地休地の隔てなく
雪折れの枝をかぶりし墓掃除
雪裂の山椒の幹痛々し
おぼつかぬ足元なれど芽吹くもの

白井 梅子
今松 利休
遠藤 金作
岡市 信彦
佐藤 栄
柴田 ヒノ
西田 美季
山口 國男
川原 道程
川原 程子
佐々木 小夜
遠藤 あや
田中 定憲
佐々木 ケイ子
高橋 麗子

保健だより(健康福祉課)

今日は大坊裕子副主任からのお便りです
問い合わせとご相談は役場健康福祉課
☎62-1211 内線515・518へ

不安や悩みを独りで抱えず

介護相談を利用しましょう



介護の悩みはありませんか

「今は元気で暮らしていても、この先もずっと健康でいられるだろうか」、「自分が介護を必要とする状態になったらどうしたらいいのだろうか」など、介護についての不安を少なからず抱いてはいるのではないのでしょうか。実際に家族の介護をしている人は、介護の方法について悩んだり、認知症の人を介護する人は、対応の仕方について悩んだり、また、高齢者本人も、「体の動きが前よりも衰えてきた」、「一人暮らしをしているが家事が大変になってきた」などの悩みを抱えてはいませんか。

独りで抱えず相談ください

介護についての不安や悩みを相談すると、介護方法のヒントを見つけたら、適切なサービスなどを紹介してもらうことができ、相談する前よりずっと気持ちが悪くなると思いきや、独りで悩まず、まずは相談しましょう。また、身の回りで介護のことで悩んでいる人がいたら、相談窓口を紹介してあげましょう。

パンフレットを全戸に配布

町は先月、介護保険のパンフレット「みんなのあんしん介護保険」を町内全世帯に配布しました



※全戸に配布された介護保険のパンフレット「みんなのあんしん介護保険」

町内の介護相談窓口

場所	時間	電話番号
地域包括支援センター(健康福祉課内)	月曜日～金曜日 8:30～17:15	☎ 62-2111 (内線 515・518)
在宅介護支援センター沼宮内(佐渡医院相談センター)	月曜日～土曜日 8:30～17:30	☎ 62-4150
在宅介護支援センター川口(ケアホーム川口内)	月曜日～金曜日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30	☎ 65-3220

※相談費用は無料で、秘密は厳守します。安心して相談ください

がご覧になりましたか。介護保険料のことや介護保険の申請から認定までの流れ、介護サービスの種類など、介護保険についての情報が満載の一冊です。ぜひ活用ください。

やさしさを持ったまち (健康福祉課福祉支援係)

在宅の重度障がい者に タクシーの助成券を交付しています

町は、在宅で重度の障がいを持つ人で、次の条件に当てはまる人にタクシーの助成券を交付しています。
【交付対象者】
町内に住所があり、身体障害者手帳の障害程度が1級～2級、または療育手帳の障害程度がAの人。
【交付資格がない人】
対象者であっても次の場合は資格がありません。

①申請者本人と配偶者(児童の場合は扶養義務者)の前年の所得が一定額を超える②児童福祉施設に入所している③自動車税または軽自動車税の減免を受けている④盲学校、ろう学校または養護学校の寄宿舎に入寮している
【交付枚数】
交付枚数は、対象者1人につき1カ月に4枚の割合で、申請月から年

度末までの分を一括交付します。
【申請方法】
身体障害者手帳または療育手帳、印鑑(スタンプタイプの印鑑以外)を持参し、役場1階の5番窓口で申請してください。(平成23年度分は4月1日以降に受け付け)
【問い合わせ先】
役場健康福祉課福祉支援係
☎ 62-2111 内線 514

子どもの急な病気は

こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～11時(年中無休)
 【電話番号】 局番なしの☎# 8000 (PHS、ダイヤル式回線電話、IP電話は☎019-605-9000)

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
 【受診場所】 盛岡市夜間急患診療所
 盛岡市神明町3-29 盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080
 【受付時間】 午後7時～11時

■症状が重い場合
 【受診場所】 小児救急入院受当番病院
 右記予定表のとおり
 【受付時間】 午後5時～翌朝9時、土曜日は午後1時～5時
 【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます
 【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

「こころといのちを支えるいわて」ひとりで悩まず下記にご相談ください。

盛岡いのちの電話 ☎019-654-7575 (正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで)
 県精神保健福祉センター ☎019-622-6955 (午前9時～午後4時30分)
 役場健康福祉課 ☎0195-62-2111 (内線513.517)

日	月	火	水	木	金	土
		3/1 川久保	2 中央	3 日赤	4 医大	5 中央
6 日赤	7 医大	8 中央	9 日赤	10 医大	11 中央	12 こども
13 医大	14 中央	15 川久保	16 医大	17 中央	18 日赤	19 医大
20 中央	21 日赤	22 医大	23 中央	24 日赤	25 医大	26 こども
27 医大	28 中央	29 日赤	30 医大	31 中央		

■当番病院の連絡先
 【中央】 県立中央病院
 盛岡市上田1-4-1 ☎019-653-1151
 【日赤】 盛岡赤十字病院
 盛岡市三本柳6-1-1 ☎019-637-3111
 【医大】 岩手医科大学附属病院
 盛岡市内丸19-1 ☎019-651-5111
 【こども】 もりおかこども病院
 盛岡市上田字松屋敷11-14 ☎019-662-5656
 【川久保】 川久保病院
 盛岡市津志田26-30-1 ☎019-635-1305

石神の丘美術館 今月のみどころ!

先人の歩みを学び、ふるさとを知ること。
 それもきっと、アートのひとつ。
 今回、美術館では2つの展示を通じ岩手町の姿を紹介します。

■企画展示室■

第11回 発掘された岩手町の遺跡展

ふるさとに帰ってきた土器たちⅡ

■ホール■

岩手町の記憶コレクション 特別編

玉菜(キャベツ)にまつわる資料展

「南部甘藍」と「いわて春みどり」

会 期：平成23年2月12日(土)～4月10日(日)
 会 場：町立石神の丘美術館 企画展示室・ホール
 開館時間：午前9時～午後5時
 休 館 日：3月14日(月)、22日(火)、28日(月)

観覧
無料

石神の丘美術館 4月からの 開館時間と休館日

石神の丘美術館の4月から11月までの開館時間をお知らせします

【4月～11月の開館時間】
 午前9時から午後5時まで
 (入館は午後4時30分まで)

【4月～11月の休館日】
 休館日はありません。ただし、企画展示室は展示替え期間お休みとなります

このコーナーへの問い合わせ先
 石神の丘美術館 ☎62-1453

町民カレンダー

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や広報などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

3月

日(曜)	時間	行事名	場所
2(水)	10:00～	沼宮内高校卒業式	沼宮内高校
9(水)	9:30～11:00 12:00～13:30 15:00～16:30 12:45～13:30	全血献血 1歳6カ月児健康診査(平成21年7月13日～9月9日生まれ)	J.A.岩手中央支所 岩手中央自動車学校 役場 町保健センター
12(土)	9:00～17:00 9:30～ 10:00～	発掘された岩手町の遺跡展「ふるさとに帰ってきた土器たちⅡ」(4月10日まで) 沼宮内中卒業式 一方井中卒業式	石神の丘美術館 沼宮内中学校 一方井中学校
13(日)	10:00～ 11:00～14:00	東部中卒業式 町芸術文化協会舞蹈部会合同発表会	東部中学校 プラザあい
15(火)	10:00～	川口中卒業式	川口中学校
17(木)	10:00～	久保小卒業式 まんまと湯っこの会	久保小学校 老人福祉センター
18(金)	9:00～12:00 10:00～	人権・行政相談 小学校卒業式(沼宮内小、川口小、北山形小、一方井小、浮島小、水堀小、岩瀬張小)	町勤労青少年ホーム 各小学校
22(火)	12:30～ 12:45～	9カ月児健康診査(平成22年6月生まれ) 6カ月児健康診査(平成22年9月生まれ) 1歳児健康診査(平成22年3月生まれ) ※乳幼児の検診を希望する人はどなたでもおいでください。	町保健センター
23(水)	10:00～15:30	盛岡年金事務所出張相談 (要予約：盛岡年金事務所 ☎019-623-6211)	ゆはず交流館創作室

4月

日(曜)	時間	行事名	場所
1(金)	18:00～19:40	町制55周年・町スポーツ文化センター落成記念「歌の散歩道」公開録音(開場17:00)	町スポーツ文化センター

3月の休日当番医

日 曜	当番医	電話番号	日 曜	当番医	電話番号
6(日)	北上脳神経外科クリニック	61-3636	27(日)	佐渡医院	62-3211
13(日)	さわやかクリニック	62-2043	4月の休日当番医		
20(日)	県立沼宮内病院	62-2511	3(日)	佐々木医院	62-2234
21(月)	岩手沼宮内クリニック	61-2025	10(日)	塚谷医院	62-1155

県立沼宮内病院 3月の応援診療科

診療科	診療日	受付時間	診療科	診療日	受付時間
脳神経外科	8.22日	8:30～11:00	皮膚科	1.8.15.22.29日	13:00～15:30
循環器科	14日	13:00～15:30	耳鼻咽喉科	2.16.30日	13:00～16:00
小児科	4.11.18.25日	13:00～16:00	整形外科	1.8.15.22.29日	8:30～11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

よろこび

かなしみ

平成23年1月受け付け分

◆お婿さん、お嫁さん◆0組(2組)

◆生まれたお子さん◆4人(4人)

◆12月

日	お名前	保護者	行政区
8	松本 大祐	弘 下野口町	
25	中澤 嬉子	敬 新愛宕下	
31	齋藤 虹花	健 太新 町	

◆1月

日	お名前	保護者	行政区
2	高橋 陽	永 吉石 神	

◆亡くなられた人◆18人(22人)

◆1月

日	お名前(年齢)	世帯主	行政区
2	道合 志志(74)	本人	上愛宕下
4	佐々木タマ(97)	本人	小 山 沢
6	岩崎徳右衛門(76)	由右工門 雪 浦	
6	高橋惣一郎(71)	本人	下苗代沢1
6	瀧本治三郎(91)	喜代治 雪 浦	
9	四戸 此天(99)	秀 賢 一方井	
9	田村 タキ(78)	久 作 一方井	
11	高橋ユキヨ(86)	志 穂 水 堀	
12	大澤 年(66)	雄 子 下苗代沢2	
13	田中 繁(75)	タ ミ 上苗代沢	
14	佐藤 キミ(83)	俊 一 上大町	
16	中村 常男(82)	繁 路 今 松	
18	四日市マツ(95)	昭 悦 野 原	
22	鍋倉 淳一(72)	留美子 下大町	
24	佐藤喜久夫(61)	陽 子 下 町	
24	佐藤 勝則(58)	本人	相 賀 瀬
26	高橋 興一(86)	一 橋 場	
29	川原 勇(84)	サ メ 大金沢	

()内は実数。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載。

広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお話ください。

◆人口の動き(23.1.31 現在)

男	女	計
7,643人 (△11人)	7,915人 (△12人)	15,558人 (△23人)
5,400世帯(△6世帯)		
出生・4人 死亡・22人		
転入・19人 転出・24人		
()内は前月比		

お知らせ

役場 62-2111

3月

募集しています

高校や大学進学に 町の育英資金制度

町は、高校や大学などに進学または在学する人で、経済的に困っている人に育英資金の貸し付けを行っています。希望する人は期限までに申し込みください。

【対象人員】 入学準備金、修学金とも各数人程度

【申込期限】 3月18日(金)

【貸付金額】

学校区分	入学準備金	修学金
高等学校	10万円以内	月額2万円以内
各種学校	30万円以内	月額3万円以内
大学・短大		

【返済】 卒業後1年間据え置き、その後8年間で返済(無利子)

【申し込みと問い合わせ先】 町教

育委員会学校教育係 ☎ 62-2111
内線 355

県立農業大学校が 農業入門塾を開講

県立農業大学校は、就農希望者を対象とした「いわて農業入門塾」の受講者を募集します。

【開講日時】 5月7日(土)～10月22日(土)の毎週土曜日、午後1時～午後3時30分

【場所】 県立農業大学校

【対象】 県内在住の就農希望者

【募集定員】 100人

【内容】 野菜栽培実習(25回)、講義(毎月1回程度、第4土曜日)

【募集期間】 3月7日(月)～4月6日(水)

【参加経費】 10,000円(教材費、傷害保険料)

【申し込みと問い合わせ先】 〒029-4501 胆沢郡金ケ崎町六原蟹子沢14 県立農業大学校・農業研修センター ☎ 0197-43-2107

大・高卒対象に国 家公務員採用試験

人事院は、次のとおり国家公務員採用試験を行います。申込用紙

の請求や受験資格などの内容については、人事院ホームページまたは下記に問い合わせください。

試験名	受付期間	第1次試験日
I種試験 (大卒程度)	4月1日(金) ～8日(金)	5月1日(日)
II種試験 (大卒程度)	4月11日(月) ～20日(水)	6月19日(日)
III種試験 (高卒程度)	6月21日(火) ～28日(火)	9月4日(日)

【問い合わせ先】 人事院東北事務局第二課試験係(〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23) ☎ 022-221-2022

行われます

陸上自衛隊音楽隊 定期演奏会を開催

陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊は、自衛隊協会岩手県連合会との共催で第26回定期演奏会を開催します。

【日時】 3月20日(日)午後3時～

【場所】 盛岡市民文化ホール(マリオス) (〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

【入場料】 無料。入場整理券は発行せず、先着順に入場となります

【問い合わせ先】 陸上自衛隊岩手

駐屯地司令業務室 ☎ 019-688-4311
内線 367・584

就業・自立に悩む 若者向けの相談会

盛岡地域若者サポートステーションは、就業に悩む若者に向けて「自立・就活相談会」を開催します。

【日時】 3月19日(土) 午前9時30分～午後5時 相談は1回

【会場】 県公会堂2階

【内容】 盛岡地域若者サポートステーション相談員による、就業や自立に悩む若者に対する個別相談

【対象者】 無業状態にある15歳～40歳に若者で、就業に悩みを抱える人やコミュニケーションに不安のある人

【相談料】 無料

【申し込みと問い合わせ先】 盛岡地域若者サポートステーション(〒020-0023 盛岡市内丸11-2 岩手県公会堂2階) ☎ 019-625-8460

その他

「緑の募金」皆さん からの協力に感謝

(社) 岩手県緑化推進委員会岩手町支部は、緑豊かな生活環境を創りだすため、各自治振興会(行政連絡員)を通じて「緑の募金」運動を行ない、本年度皆さんから427,752円の募金を頂きました。

募金は、要望のあった地区に桜、ツツジなど5種類の苗木を配布し植林されたほか、学校や公共施設の環境緑化の推進、森林愛護運動、水資源確保や空気の浄化のための森林づくりなどの緑化事業に活用されました。町の皆さんからたくさんの温かいご支援を頂き感謝いたします。

【問い合わせ先】 役場農林環境課農林振興係 ☎ 62-2111 内線 303

協会けんぽの保険 料率が変わります

協会けんぽ(全国健康保険協会)が運営する健康保険の保険料率は、平成23年4月に納付する保険料から改定されます。岩手県ではこれまでの9.32%から9.45%となります。

高齢者医療への拠出金や加入者への医療費給付費の伸びに、被保険者の総報酬額の伸びが追いついていないことが大きな原因です。協会けんぽは加入者の皆さんの健康増進や将来の疾病予防を一層推進していきますので、保険料負担増加へのご理解をよろしくお願い致します。

【問い合わせ先】 協会けんぽ岩手支部 ☎ 019-604-9009

鳥インフルエンザ 感染防止の対策を

全国的に、野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されています。愛玩鶏(鶏、鶺鴒、チャボなど)を飼養している人は、次のような対策を行きましょう。

①防鳥ネットや飼育施設に破損などが無いかの確認

②飲み水は、消毒済みの水(水道水など)を与える

③外部からのウイルスの持ち込みを防ぐため、外出時に着用した衣類や靴を着替えて飼育施設に入る

④飼育施設の周囲に消石灰を散布する(1㎡当たり1kg)

⑤健康状態を毎日観察し、異常が見られたら獣医師または県中央家畜保健衛生所に連絡する

【問い合わせ先】 県中央家畜保健衛生所 ☎ 019-688-4111

確定申告の受け付けは3月15日まで

町は、3月15日まで確定申告を受け付けています。まだ申告が済んでいない人は、日程を確認の上、早めに来場ください。

【日程・対象地区】

日	対象地区
3(木)	子抱、沼袋、大渡、遠中沢、穀蔵、丸泉寺、太布、水無、子九十
4(金)	館、新町、城山、民部田、柳橋、田中栄小路
6(日)	平日申告することができない人
7(月)	上・下大町、上野口町、江刈内、新愛宕下
8(火)	下苗代沢1・2、駅前、上・下愛宕下、子抱団地
9(水)	上・下五日市、大坊、下野口町、上苗代沢
10(木)	太田、細沢、石神、犬袋
11(金)	横田、久保、落合、半在家
14(月)	まだ申告をしていない人
15(火)	

【時間】 ○午前の部 午前9時～11時30分 ○午後の部 午後1時～3時30分

【会場】 町総合開発センター

【問い合わせ先】 役場財務会計課課税資産係 ☎ 62-2111 内線 523

固定資産課税の 評価を確認できます

町は、平成23年度固定資産税の課税台帳の閲覧と、価格等縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。

【固定資産税課税台帳兼名寄帳の閲覧期間】 4月1日～平成24年3月31日(土、日、祝祭日を除く)

【土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧期間】 4月1日～5月2日(土、日、祝祭日を除く)

【閲覧・縦覧時間】 午前8時30分～午後5時15分

【閲覧・縦覧場所】 役場1階財務会計課

【問い合わせ先】 役場財務会計課課税資産係 ☎ 62-2111 内線 524

障がい者の就労など相談を受け付け

一方井地区に多機能型事業所「西部・わらびの里」を開設する(有)西部産業は、就労などで困っている障がい者の皆さんの相談を受け付けています。詳しくは、下記へ問い合わせください。

【問い合わせ先】 (有) 西部産業 ☎ 75-1662

上野 勝洋さん

【プロフィール】
うえの・かつひろ 26歳 沼宮内高を平成15年3月に卒業後、各職を経て平成20年10月に中川石油給油セルパ沼宮内SSに就職。血液A型、うお座。(大袋)

雪が解けたら八幡平に

「ガソリンスタンドには、たくさんのお客さまがさまざまな車に乗っていらっしゃいます。私は車が大好きなので、給油や洗車などを通じて車に関わることでできるこの仕事は、本当に楽しいですね。最近では、セルフのスタンドが多くなり、私たち従業員も以前と比べてお客さまと触れ合う機会がのびと少なくなりましたが、お客さまにはぜひお気軽にお声を掛けていただきたいです」と話す勝洋さんは、町内のガソリンスタンドに勤務し、今は、3月から始まるオイル交換キャンペーンの準備などで忙しい毎日。また、プライベートでも、念願の車の納車を1週間後に控え心躍る毎日です。小学生から野球を続け、高校時代は、部員数の減少で苦戦が続く中、夏の大会で数年ぶりとなる価値ある1勝を挙げました。理想の女性像は「好奇心旺盛で一緒に楽しめる人」だとか。「雪が解けたら愛車で八幡平に出掛けたいです」と、早い春の訪れを待ちわびています。

ヤング散歩
No.273



通(つう)とは物事をよく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。



岩瀬張「バーチャーズ」

「老人クラブはまだ早い」から十三年 第二の人生は、変わることなく花盛り

「老人クラブにはまだ早い」と会を結成して十三年。第二の人生は、またまた花盛りです」と笑顔いっぱい話すのは、岩瀬張地区の婦人団体「バーチャーズ」(細野恵子代表、会員九人)の皆さん。農家の嫁として長年働き続け、代替わりを機に、第二の人生を楽しく有意義にしようと同年代の仲間と会を結成したのは平成十年のこと。農閑期になると集会所に頻りに集まり、踊りや手芸などそれぞれの特技を学び合うなど常に新しいことに挑戦。毎年デイサービスを訪問し、その成果と持ち前の元気を披露し先輩たちを励まし続けています。

「今日は、脳の活性化にと、ふるさとかるたやオセロに挑戦しました。最近では、会員の半数が敬老会に呼ばれるようになり、少し年を取った気もしますが、なんのまだまだ現役。仲間と一緒にやってみたいこと、楽しみたいことは山ほどあります。働く時は働く、楽しむときは楽しむ、これが元気の秘けつです」と話します。



バーチャーズをリードする
細野 恵子 さん
(73歳、岩瀬張)

「ふるさとかるたは楽しかったです。岩瀬張版のかつたも作ってみましたね。さあ今度は何をやりましょうかね」と恵子さん



岩瀬張

こちらデスクです



62-2111 (内線) 216

編集後記

町の皆さんこんにちは。いつも快く取材に協力していただきありがとうございます。さて、近ごろの気温の上昇で、正月の大雪以来、家々の屋根にぶ厚く積もったままだった雪がようやく解け始めるなど、今年はいつにも増して春の足音が身近に感じられます。例年、白一色で彩りが乏しいこの季節ですが、今年は、熱い注目を集めるキャベツや焼きうどんの話は昨年途切れることを知らず、恒例のそばフェスタは今年も大盛況と、町産食材とその魅力はますます彩りを増すばかりです。中でも三月十二日から石神の丘美術館で始まる「玉葉にまつわる資料展」は要注目。町産キャベツ百年の歴史を物語る貴重な写真や資料、復元した炭すき俵などが一堂に展示されます。ぜひ足をお運びください。(志田)